

令和元年 12 月 16 日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会 理事長 中村博亮
新技術評価委員会 理事 渡辺雅彦

日本ペインクリニック学会および日本インターベンショナルラジオロジー学会所属医師によるヘルニコア施行に際しての連携依頼について

本邦初の椎間板酵素注入療法であるヘルニコアは、2018 年 8 月の販売より、日本脊椎脊髄病学会（JSSR）及び日本脊髄外科学会（NSJ）の使用要件を満たす医師／施設で使用を開始しており、今後、日本ペインクリニック学会（JSPC）及び日本インターベンショナルラジオロジー学会（JSIR）でも使用が開始される予定です。

これら学会の使用に際しては、十分な透視下穿刺の経験を有する専門医に限定し、学会指定のセミナーの受講を必須とするなど厳格な使用要件を設定のうえ開始されることで規制当局（PMDA）と合意を得ています。その内の施設要件が以下の 4 項目になります。

- ① X 線透視設備（C-アームなど）があり清潔操作のもと本剤を投与可能な施設
- ② ショック・アナフィラキシーに対応可能な施設
- ③ 「日本脊椎脊髄病学会指導医、日本脊髄外科学会指導医または認定医のいる施設で院内連携ができる施設」または「緊急時に脊椎手術ができるもしくは脊椎手術ができる施設と連携している施設」
- ④ 入院設備がある施設

下線部の項目から、上記 2 学会所属医師より日本脊椎脊髄病学会所属医師への連携依頼が想定されます。対応については各施設のご判断でよいと考えますのでどうかよろしくお願い申し上げます。